

Special Interview

～ SORA コーチスペシャルインタビュー ～

大西 雄一郎



×

ファイナンシャルプランナー



「競技者 × コーチ」だけじゃない。
お金と運動の両面を「デザイン」する。

陸上競技に出会うまで

私は豊田小学校出身で、小学生時代は1〜6年まで少林寺拳法を、6年生の時にはサッカーをしていました。かけっこのタイムで言えば、小学校4年生の100mで19秒9だったという事はなんとなく覚えています。こちらは冴えない感じではありませんが、ソフトボール投げでは45mを投げて皆より少し得意だったのを覚えていますが、どの種目も特に大きな成果を残しておらず、いわゆる「普通」のレベルでした。中学時代は、三豊中学校で野球部へ所属し、5番、ファースト。カーブは打てないが（笑）、ストレートは任せろというような選手でした。レベルとしては県大会に進出するレベルで、これもまた普通といったところでしょうか。その後、観音寺一高へ進学し、野球部で甲子園に行きたいと考えていましたが、**実は代表の荻田との縁があり、陸上部でやり投げをすることにしました。**当時は全く知らなかったのですが、観音寺一高は陸上の名門校で、毎年インターハイに多数の選手を排出していました。そのような良い環境の中で徐々にやり投げ選手としての才能が開花し、**国体で7位入賞、インターハイでも決勝進出を果たすことができました。**大学は同志社大学へ進学し、陸上競技部の主将として部を引っ張りました。

仕事と競技の考え方

卒業後は野村証券に就職し、富裕層向けにお金（資産運用）のコンサルティングを、その後、ソニー生命に転職し、個人や法人の生命保険のコンサルティングをしていました。完全歩合での仕事だったため、**自分の力を試してみたかった**というのが大きな理由です。して、対応できる保険の種類を増やして皆さんにより良い保険を提供したいという思いから、2年前にコア・ライフプランニングへ転職をして現在に至ります。もちろん、競技の方も自身の可能性に挑戦し続けています。仕事との



両立は難しい部分はありますが、私の業種は人とのご縁でこそ成り立つもの。競技者としての私（の体型）が話のキッカケになることもよくあります（笑）。現在は年齢もあつて怪我との付き合いが常になっていますが、目指す70mスローへの挑戦は、まだまだ諦めるつもりはありません。指導に関しても、SORAコーチになる前から県内中高生へのやり投げの指導を行っていました。関わった全てのやり投げ選手が大幅に自己ベストを更新して、インターハイや国体、その先にある大学へのスポーツ推薦入学の権利も得る事ができ、指導へのやりがいも強く実感しています。

自身のキャリアを

SORAに還元したい

これまで、昼間の時間は「お金のプロ」として、10年近くお客様と関わってきました。その中で自信を持つて言えることは、個人でも20〜30年先を見越した資産形成を行う事ができれば、結果として2000〜3000万円くらいの差が出てくるという事です。とてつもない数字で理解し難い部分はあると思いますが、長期的な運用という条件で、現実としてそのような堅実な投資も存在します。だからこそ今の仕事にやりが



*写真左側

いを感じていますし、今後も継続して皆様のお金の問題に寄り添っていければと考えています。SORAで行っている、「投げる」のコーチとしての指導はもちろんですが、関わった会員の皆様にも、今の仕事で還元できることが沢山あるように感じています。
ご相談いただければ、結果的にSORA会費を賄ってあまりあるような資産運用のご提案ができるのではないかと考えています。これもSORAの一つの価値として、皆様に喜んでもらえるような環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。